



ASEAN Power Grid

東南アジアの
国際送電網構想
がもたらす事業機会



Sarath Menon
Intralink Southeast Asia

急成長する東南アジアの 電力市場

過去10年間で電力使用量が**50%急増**。
その後、2030年までに；

- 需要はさらに**41%増加**する見込み
- 同地域では、新たに**170万キロの送電線と配電線が必要**とされる

電力セクターで展開する企業にとって、これは見逃せない機会...



ASEAN Power Gridとは



ASEANにおけるエネルギートランジション加速に向け、加盟国の**国境を超えた電力融通・システム統合**を目指す国際電力網整備構想。
これにより;

地域のエネルギー安全保障を強化



電力供給の信頼性を向上

再生可能エネルギーへの移行を加速



2045年の完成に向け、今後さらに**ASAEN**域外から膨大な民間投資が必要に!

主な取り組み事例

ラオス・タイ・マレーシア・シンガポール間の電力統合プロジェクト



2022年に**多国間電力取引の先駆け**として開始

シンガポール・インドネシア間の海底ケーブル



シンガポール向け**低炭素電力輸入**に関する合意

ブルネイ・インドネシア・マレーシア・フィリピン間の電力統合プロジェクト



これらの**島国間で送電網接続を構築**する可能性を評価するワーキンググループ

求められるテクノロジー

電力網の自動化

信頼性と効率性の向上

エネルギー貯蔵システム

断続的な再生可能エネルギー供給調整と、システムの安定性維持

高度な計測インフラ

リアルタイム課金、負荷制御、エネルギー効率の向上

送電網の近代化

容量、耐障害性、信頼性の向上

サイバーセキュリティ

デジタル化が進むインフラの保護

同市場に参入している グローバル企業事例

 Schneider
Electric

 Itron

 ABB

 CISCO

 Landis+Gyr

日本企業もこの流れに乗り遅れないよう、
「今」動く必要がある！

ASEAN市場参画へのヒント



直面しうる課題

- ASEAN市場における異なる規制と手続き
- 公共インフラプロジェクトの複雑な入札プロセス
- 「外部者」がアクセスしにくい機会



成功への鍵

- ローカル市場とビジネス慣行に深く精通する**現地パートナーとの連携**
- 電力システムの安定性や脱炭素化といった**政府の優先課題に沿う**
- **技術デモとパイロットプロジェクト**を通じて信頼性を構築
- **日本企業が持つ経験や洞察、ノウハウを活用** -
例：送電網安定化と高信頼性制御、分散型および孤立地域における電力提供

How to get started?

東南アジア・ASEAN
への進出へご関心が
ございましたら、
ぜひ以下より弊社まで
お声がけください!



お問い合わせ

イントラリンクは、国境を超えたコラボレーションを通じた日本企業のグローバル事業開発、テック企業の国際市場展開、政府機関の貿易振興と投資誘致を支援する事業開発コンサルティング会社です。